

令和元年度宮城教育大学契約監視委員会議事概要(物品等)

開催日及び場所	令和元年5月29日(水) 宮城教育大学管理棟1階旧役員会室	
委員	委員長 菊池 武剋 委員 荒 中 委員 手島 貴弘	
審議対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
個別審議対象案件	13 件	(備考) 宮城教育大学契約監視委員会設置要項第4条に則り、互選により菊池委員が委員長に選出された。  財務課長から平成29年度物品等の契約状況についての概要報告があった。  > 件数 ・平成29年度における物品等の契約は約5,800件となり、大半が予定価格が一定基準以下の少額随意契約であった。これ以外の契約が左記のとおりとなっており、今回の審議対象案件である。
政府調達	2 件	
総合評価方式	0 件	
最低価格方式	2 件	
競争性のない随意契約	0 件	
一般競争入札方式	6 件	
総合評価方式	0 件	
最低価格方式	6 件	
随意契約方式	5 件	
公募・企画競争	1 件	
見積合わせ	0 件	
競争性のない随意契約	4 件	
委員からの意見・質問 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	【意見】 「附属小学校及び附属特別支援学校給食調理請負業務」については、競争性があまり働いていないように見受けられることから、入札条件等の見直しを含め競争性の確保により一層努めていただきたい。	

別紙

質問	回答
<p>資料3No. 9「附属小学校及び附属特別支援学校給食調理請負業務」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格の積算について、提供食数や稼働日数をどのように扱っているか。</li> <li>・食材費が含まれているか。</li> <li>・結果的に、一者入札で予定価格と同額で落札している。過去3回の入札状況はどうであったか。</li> <li>・平成23年度から29年度にかけて落札金額が大きく上昇しているのはなぜか。</li> <li>・入札説明書交付は複数あるが、今回5者に交付し結果的に1者となっているのはなぜか。</li> <li>・競争が働いていないことが伺えることから、条件(同種業務の実績)の見直しなど競争性を働かせるような工夫の余地がないかどうか検討されたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格は、基本的に、人件費と諸経費を算出して参考見積と比較し低廉な方を採用する。仕様書によりあらかじめ提供食数を調理可能な人数並びに稼働日数を定めており、人件費の積算において、その必要となる人数の労務単価を積算し稼働日数を掛けて算出する。</li> <li>・食材の購入は含まれない。別途購入し、食材が納品された後の検品から取り扱う。</li> <li>・過去3回について、一者入札が続いている。基本的に予定価格の算出方法は同様であり、積算額より安価な参考見積を採用した場合及び参考見積からの値引きを考慮した場合は落札率100%となっている。</li> <li>・基本的に配置人員は変わっていない。部材費も上昇しているが、主に人件費の高騰によるものである。</li> <li>・応札しなかった4者について確認したところ、他の案件と重なる、または、本学が求める過去の実績(同種業務)と合致しないなどの理由であった。</li> <li>・条件(同種業務の実績)の見直しを行い、競争性が働くよう検討したい。</li> </ul>